

いかわ

議会

だより

No. 139

2019. 7. 10

躍動感あふれる初夏の井川っ子

第2回定例会（条例改正・陳情） … 2

常任委員会 …………… 4

一般質問（1議員登壇） …………… 6

私のひとこと・議会のうごき …… 8

6

月議会

（会期・6月4日～6日）

令和元年

一般会計補正予算案 可決

2127万円を追加、総額29億170万円に

県営湛水防除県単事業負担金	392万1千円
町道改良舗装工事	204万8千円
特別賃貸住宅解体工事	110万6千円



町民を魅了した花火

6月定例会は6月4日から6日までの3日間の会期で開かれた。
町長の行政報告では、今年は晴天が続き降水量が少なくなっていることから、井川ダムを放流し農業用水として供給している。農家への経営所得安定対策の交付金は例年並を予定。県では、近年の豪雨災害を受け井川新橋にも水位計を設置、既存の蒔田観測所と2カ所での観測となり、避難情報等期待される。また国花苑のさくらまつりでは、期間中の好天にも恵まれ9万人の来苑者を記録。5月4日の花火は町内企業からの協賛金も合わせ盛大な花火の打ち上げとなるなど報告。

令和元年

第1回井川町議会臨時会開催

6月24日

令和元年度井川町一般会計補正予算について
200万円を追加し総額29億370万とする

◆国花苑パンフレット等印刷費	20万円
◆定住センター修繕料	60万円
◆いのちの教育あったかエリア事業	120万円

- 日本国花苑内にあるバラ園などのパンフレット等印刷費 20万円
- 定住促進センターの風呂の改修費 60万円
- 県指定モデルとして実施する「いのちの教育あったかエリア事業」の指定を受け井川義務教育学校の児童生徒による訪問研修等の費用 120万円

いのちの教育事業内容

- 7月：5～9年生が東日本大震災の被災地を1泊2日の日程で訪れ、三陸鉄道震災学習列車乗車など。
- 8月：1～4年生が秋田市の大森山動物園で命の保護について学ぶ。
- 12月：町民を対象にした映画の上映を計画。

審議議案と採択の結果

議案6件は、全員一致可決

議案第24号

◆井川町森林環境整備基金条例の制定

令和元年度より国から「森林環境譲与税」が譲与され、木材利用の促進や啓発その他森林整備など使途が定められていることから、これを基金として積み立て必要に応じて活用するための基金条例を制定するもの

議案第27号

◆物品購入契約の締結について
内部情報系パソコン等機器購入

議案第28号

◆令和元年度井川町一般会計補正予算

2, 127万円を追加し、29億170万円とした

議案第25号

◆井川町非常勤特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

国会議員の選挙等の執行経費の基準に関する法律及び公職選挙法の一部改正に伴い選挙長や選挙立会人等の報酬日額の改正

議案第29号

◆令和元年度井川町国民健康保険事業特別会計補正予算

68万6千円を減額し、5億2,691万4千円とした

議案第26号

◆井川町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

国民健康保険税の課税額の改定等を実施するため、所要の改正（軽減判定基準を更に拡充）

◎専決処分した事件の承認

- 井川町税条例の一部を改正する条例
- 井川町国民健康保険税条例の一部を改正する条例
- 平成31年度井川町一般会計補正予算

陳情

6月定例会に5件の陳情書が提出され、審査の結果全陳情を採択とし、関係機関に意見書を提出した。

採択 全員一致

●地方財政の充実・強化を求める意見書提出に関する陳情

◆連合秋田男鹿潟上南秋地区連絡会
議長 太田 修

●教職員定数改善と義務教育費国庫負担割合2分の1復元をはかるための、2020年度政府予算に係る意見書採択の陳情

◆秋田県教職員組合

執行委員長 櫻田 憂子

◆秋田県教職員組合男鹿南秋支部

支部長 鳥井 政之

採択 賛成多数

●全国知事会の「米軍基地負担に関する提言」の主旨に基づいて、地方自治の根幹を脅かす日米地位協定の見直しを国に求める意見書を提出する事を求める

◆日米地位協定を見直す会
共同代表 難波希美子

●辺野古新基地建設の即時中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について、国民的議論により、民主主義及び憲法に基づき公正に解決するべきとする意見書の採択を求める陳情

◆「新しい提案」実行委員会
安里 長従

●辺野古新基地建設の即時中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について、国民的議論により、民主主義及び憲法に基づき公正に解決するべきとする意見書の採択を求める陳情

◆全国青年司法書士協議会
会長 半田 久之

になれるか デザインのお菓子



総務産業

- ◆ 条例の制定・一部改正
- ◆ 補正予算
- ・ 一般会計
- ◆ 総括質疑

総務産業

問 新たな試みとして国花苑のゴリ山をデザインしたチヨコレートの型枠を秋田県立大学の3Dプリンターで作るという話であるが、製菓業者は決まっているか。

答 ゴリ山の型枠は県立大学の3Dプリンターで作成し、パッケージデザインとサンプルとしての箱詰めを開発業者にお願いすることになっている。チヨコレートを作る業者は希望の業者が手を挙げた時点で決めることになり、現時点では決まっていない。

問 森林環境譲与税の配分基準ははっきりしているか。人口比例と説明にあったが、森林の多い所に配分するよう基準を変えるべきとの要望も出ているようである。

答 森林環境税総額の1割を都道府県に譲与する

ことになっている。平成36年度まで、市町村80%、県20%の割合。平成37年度から市町村が85%、41年度から88%、45年度から90%という配分になる。80%の市町村分については、50%が私有林の人工林面積割、20%が林業就業者数割、30%が人口割で配分される。

問 湖東森林組合に伐採等を委託した場合、収益金はどのように分配されているか。また町で管理した場合はどうなのか。

答 湖東森林組合へ委託した場合は、経費を除いて所有者に収益が支払われており、町で管理した場合は、計画内で収益等を定めることになる。

問 特別賃貸住宅の解体とあるが解体後の方向性は決まっているか。

答 解体後は民間の資金を入れ、公営住宅法にとられない住宅建設を考えている。

問 昨年の大雨被害で、未だブルーシートを掛けたままの河岸があるが、着工のめどはたっているか。

答 工事箇所は多数あり、随時着工している。

問 プレミアム商品券のシステム改修と事業委託の詳細は。

答 電算組合を通じてシステム改修をし、対象者の抽出と番号の発行をシステムで行い、商品券の発券を湖東3町商工会へ委託して実施する。

問 国民健康保険税条例の一部改正について、税率は全県一本化の方向になるということであるが、最終的には町で税率



解体が決まった特別賃貸住宅（羽立町内）

町の新たな特産品 ゴリ山

教育民生

◆補正予算

◆一般会計

◆国民健康保険事業会計

◆総括質疑

を決めるということで間違いないか。

答 税率は各市町村の所得によって変える必要があり、今回示された標準税率も昨年度の所得を想定した税率となっているため、一年で大きく所得が変動した場合、調整を取る必要がある。いずれは全県一本化の税率に進むだろうということだが、現時点ではまだ難しく、出来るだけ県の標準税率に合わせていくという考えである。

教育民生

問 井川町だけ福祉避難所を指定してないのはなぜか。

答 さくら苑などの施設を避難所に指定できるが人員の確保などの課題があり、今年度中には人員計画を策定し避難所指定したい。

問 空き家対策を今後どう進めるか、また解体すると税金アップするので解体しない人もいるのでは。

答 空き家対策補助金と情報登録制度を行っており、解体したいとの相談が多いが、補助金を利用した解体が進んでいないので利用して欲しい。また、解体しても10年間は固定資産税据え置きの特典措置も設けている。

問 「みなくる」へ行った保護者から、「子供が走ったりおもちゃを落と

したりしたら注意され、子供なら誰でもあるのに不愉快でもう行かない。隣の施設を利用したら、逆に担当者から困った事や心配ごとがあれば、いつでも相談して下さい。」と言われ凄く感動した。」と聞いたが、「みなくる」は制限ばかり多く、職員の対応はどうしているか。

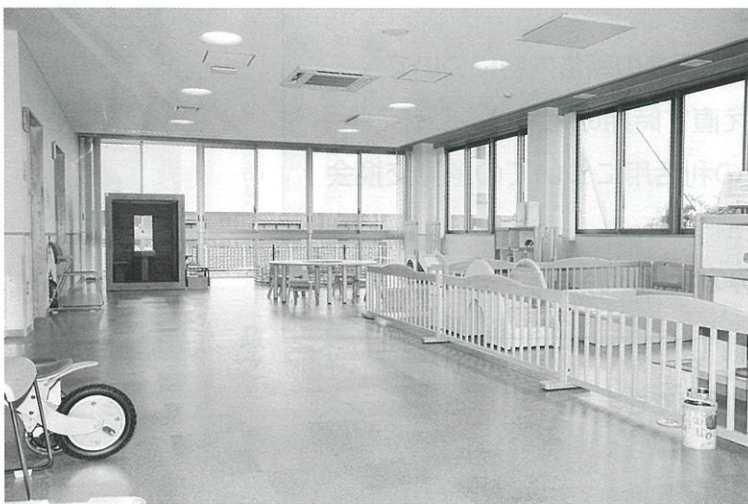
答 職員の対応については何度か指摘があったが、その都度指導しており、今後も指導を徹底していきたい。

問 義務教育学校グラウンドや町民球場の芝生管理業者は去年と同じか。また、入札金額だけでなく、しっかりとした環境や維持できる事を前提に

入札を進めてほしい。
答 業者は、今年変更した。維持管理には、十分に気をつけたい。

問 旧小学校の体育館の開閉や鍵の管理は指導者が行っているそうだが、事件や事故の際の責任の所在はどこか。鍵の管理は本来教育委員会であるべきではないか。
答 指導者に対し、鍵の管理責任の旨の書類を示し使用を承諾している。現在、教育委員会では鍵の管理までできる状況にないので理解してほしい。

問 町民球場のグラウンド整備用の木製トンボが外に出しっぱなしになっているが、あれではすぐに材質が駄目になるのではないか。
答 トンボをしまう物置がないのが現状で、早急に対応を考える。



利用者が笑顔で帰れる「みなくる」へ期待

1 人の議員 一般質問

一般
質問

町政のここが聞きたい

定例会初日に一般質問が行われ、1人の議員が町政について質問した。
質問順に掲載する。

遠藤 政勝 議員

1 農村社会を維持するための農業振興について

- ・耕作放棄地の状況はどうなっているか
- ・農作業の受委託の相談はあるか
- ・農業再生協議会の「水田フル活用ビジョン」の活用は
- ・年1回、議会、農業委員会、JA、土地改良区の役員等で意見交換会の開催が必要では
- ・農業振興計画の見直しと町づくりビジョンについて

2 日本国花苑の整備計画について

- ・日本国花苑の利用計画策定に関する委員会の報告内容について
- ・日本国花苑のあり方を抜本的に考え直す時期の考えは
- ・この検討委員会の報告と旧小学校の利活用についての意見交換会等の計画はあるか
- ・今年の“さくらまつり”のイベント等の状況と評価は

なお、一般質問の質問と答弁の詳細は、議会議事録で閲覧できます。

◆ 一般質問とは ◆

一般質問は、町の行政全般（一般事務）に関し、執行者所見や疑義について質問できるものである。

質問する議員も受ける執行機関も十分な時間が必要なことから通告制を採用し、事前に質問内容を通告することとしている。

井川町では、質問時間は、1人につき30分以内で完了することとされている。

再質問からは、一問一答方式が採用されており、時間内であれば再々質問までとされている。



一般質問

美しい農村社会を維持するためには 農地のあり方を議論したい



えんどう 遠藤
まさかず 政勝
議員

遠藤 耕作放棄地の状況とその対策は。

町長 平成27年調査では3haの耕作放棄地となっている。農業委員会は自己保全管理されている農地をパトロールしている。作付可能な農地については作付するよう指導しており、耕作放棄地の防止に取り組んでいる。

遠藤 農作業の受委託の相談と受け手がいないケースはあるか。

町長 受委託の相談は役場のほうにも何件かはあるが、実際のところは、地元と生産組合と農業委員会が中心となって、受け手の調整をして

いる。いまのところは、受け手がなくて困っているケースはない。これから高齢化が進んで後継者が少なくなる状況では、今後ひとつの大きな課題ということで認識している。

遠藤 農業再生協議会の「水田フル活用ビジョン」は活用されているか。

町長 水田フル活用ビジョンは町の農業振興の軸である。そして地域作物振興の設計図というものである。振興作物については、この水田フル活用ビジョンに定めないと産地交付金を活用できない。

遠藤 美しい農村社会を維持するためには農業振興が大事。農振計画の見直しは。

町長 農業振興については同じ考えである。特に担い手の確保等をどう位置づけていくか、行政だけでなく様々な関係団体と意見交換し

ながら新しい計画に取り組んでいく。総合戦略化を考えるタイミングもある。農業全体、特に農地のあり方というものを議論していきたい。



美しい田園風景を維持するには

日本国花苑の整備は 人が来るような仕掛けを

遠藤 日本国花苑利用計画検討委員会の意見書の内容は。

町長 私が中長期的な視点を持ったうえで国花苑を整備するという考えから、31年3月迄11回委員会を開催。内容については、桜を中心とした花木の充実、遊歩道、駐

町長 抜本的という言葉は訂正して、日本国花苑のあり方を考え直す時期に来ているという考えである。

遠藤 この意見書から整備等について意見交換会の計画はあるか。

町長 10年後、20年後を見据えたうえでランドデザインを作りたいたの考えであり、課題また現状、これらを踏まえて、新たに小学校の活用を考えていく事になるので、意見交換会等については今年はまだ出来ないだろうと考えている。

遠藤 今年の、さくらまふり、期間のイベント等、町長の評価は。

町長 概ね好評だと思ふ。さくらまふりだけでなく、栗づくりも将来的なものを目指している。新たに国花苑に人が来るような仕掛けというものを考えていく。

私の



羽立町内会長
伊藤 毅

地域ブランド力で
町を活性化

各市町村では自らブランド品を作り上げ、地域を活性化させる動きが盛んです。我が町も活性化し経済力を高めるには「地域ブランド力で町を盛り上げる」ことだろうと思います。「桜名月」「えだ豆サブレ」などのブランド力の維持と強化、それに続く企画と開発、それと観光名所「国花苑」が持つ価値の創造が必要です。この地域ブランドについて私見を述べたいと思います。

まず、ブランドには信頼性が求められます。生産者、創造者を明確にして安全安心を担保するとともに、他が真似できない特許性を持たせる工夫が必要です。次にブランドには個性が必要で、強い個性を持たせる為に、ブランド誕生の苦労や秘話などをアピールする方法もあります。それと、ブランドを構築し強化する為には、PR活動が必要不可欠です。事業紹介の催事を首都圏で開催する、参加型で来町頂く為のキャンペーンやツアーを組む、メディアを活用するなど有効です。

一方で、ブランドを企画、創造することは並大抵ではなく、ブランド化までの挑戦には多くの失敗と苦労が伴います。挑戦とは、早く、多く失敗することだろうと思います。大事なものは、失敗で終わってしまわずに、それを乗り越えてブランド化させる強い志です。

地域ブランドを構築し、価値を高めていくことで、必ず町の活性化につながるものと信じます。その結果、少子高齢化が進む我が町に、もっと多くの人に住んで頂いて、大きな経済効果を生みだそうではありませんか。

議員派遣

◆南秋田郡町村議会議員大会

目的 町村議会議員が一同に会し、地域づくりを推進するため地域で抱えている課題や情報を交換し、地方自治の振興に資する。
場所 五城目町「五城館」 期間 令和元年7月8日(月) 1日間

◆井川町議会議員行政視察研修(県外)

目的 県外の人口・財政規模が類似する議会との議会改革・空き家対策等に関する情報交換及び廃校の利活用について受講し、見識を高め議会の円滑な運営と地方自治の復興に資する。
場所 和歌山県九度山町・すさみ町・田辺市
期間 令和元年7月16日(火)~18日(木) 3日間

◆秋田県町村議会広報研修会

目的 住民と議会との意思疎通と相互信頼を培うため重要な役割を果たしている広報の内容の充実を図るため編集技術の習得に資する。
場所 秋田市「ルポールみずほ」
期間 令和元年7月31日(水) 1日間

◆秋田県町村議会議員研修会

目的 議会の活性化及び議員の資質向上を図り、議会の円滑な運営に資する。
場所 秋田市「市町村会館」 期間 令和元年7月31日(水) 1日間

議会のうごき

- 4月16日 南秋田郡町村議会議長連絡協議会総会 (八郎潟町:はちバル)
- 5月14日 秋田県町村議会議長会理事会 (秋田市:県市町村会館)
- 5月17日 南秋田郡町村議会議長連絡協議会 (八郎潟町役場)
- 5月24日 議長・副議長・議会運営委員長会議
- 5月27日 第2回議会運営委員会
議会だより編集委員会(以降4回)
- 5月28日~29日 全国町村議会議長・副議長研修会 (東京都:東京国際フォーラム)
- 6月3日 井川町功労章授与式
- 6月4日~6日 第2回議会定例会
- 6月24日 第3回議会運営委員会
第1回議会臨時会

編集後記

この地の渇水難など、記憶から飛んでいたが、今冬の少雪・春からの極端な雨不足により、一部地域においては農業用水手当がままならず、田植えの出来ない水田、田植終了も黄色化した水稲苗田が発生した。昨春は、家屋・農地への浸水・堤防破損と大雨による被害が発生するなど気象の振幅に驚くとともに、対処の術、備えも必要と再認識させられた。

この後記起稿の今、漸く雨らしい雨が有り、ひと安堵しているが、地球温暖化による大気的不安定が原因の災禍だとも云われており、普段から地球に優しい営みを心掛けようと思う。

(松田 弘咲 記)

発行責任者	藤田 俊悦
委員長	湊 文博
副委員長	松田 弘咲
委員	浅野 義幸
委員	伊藤 俊郎
委員	遠藤 政勝
委員	渡部 豪士